

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～24℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網―西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の19%（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣―スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり36kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり870kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり70kgの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.2トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。
- 定置網―五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり163kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり339kgの水揚げ。対馬東岸地区ではマサバなどが1日1統当たり306kgの水揚げ。
- 一本釣―北松宇久地区では、イサキが1日当たり478kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(5/9～5/13の5日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、太平洋公海域のアカイカ(ムラサキイカ)漁に出漁を開始した。なお、日本海のスルメイカ漁に一次航海出漁船はない模様。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、壱岐・対馬沖、山口沖、山陰沖、能登半島西沖で操業。

沖合イカ釣(鳥取県西部・沖合船)は、入港船なし。

(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

漁海況通信「第8-8号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を公表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>